



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月28日
上場取引所 東

上場会社名 EIZO株式会社
コード番号 6737 URL <https://www.eizo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 実盛 祥隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経理部長 兼 IR室長 (氏名) 有生 学 TEL 076-275-4121
四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	18,548	3.9	1,058	20.6	2,518	100.2	1,723	24.6
2023年3月期第1四半期	17,847	△22.9	877	△78.3	1,258	△72.5	1,383	△56.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 5,558百万円 (470.0%) 2023年3月期第1四半期 975百万円 (△59.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	83.80	—
2023年3月期第1四半期	65.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	164,701	124,802	75.8	6,066.46
2023年3月期	155,935	120,580	77.3	5,861.22

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 124,802百万円 2023年3月期 120,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	60.00	—	65.00	125.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	100.00	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	10.1	7,500	49.9	8,600	40.4	6,000	2.4	291.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	21,981,160株	2023年3月期	21,981,160株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,408,606株	2023年3月期	1,408,606株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	20,572,554株	2023年3月期1Q	21,252,184株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はTDnetで本日（2023年7月28日）開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、経済活動の正常化が進んだものの、欧米における前年度から継続するインフレの長期化や金融引締めにより景気の減速感が強まっております。

当社グループは、映像技術を核とした顧客のニーズに応じた最適な映像環境ソリューションを提供する「Visual Technology Company」として、世界トップレベルの高品質かつ信頼性の高い映像製品の提供、システムソリューションの提案を行っております。

2023年度は、第7次中期経営計画の最終年度となります。強固な財務基盤を活かし研究開発・設備・人的資本への投資を引き続き積極的に実行し、事業成長を実現してまいります。また、「撮影、記録、配信、表示」から成るImaging Chainをシステム事業として展開するEVS (EIZO Visual Systems) をより強くすることで、事業領域を更に拡大し新たな価値を提供してまいります。

当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は18,548百万円（前年同期比3.9%増）と前年同期を上回りました。B&P (Business & Plus) においてIT投資の先送り、市場における在庫調整により販売が低調だったものの、ヘルスケアにおいて堅調に販売が推移しました。アミューズメント市場向けにおいては主力機種の販売が増加したことから、前年同期を上回る売上高となりました。

利益面については、原材料費及び海上運賃等の原価の改善、ヘルスケア市場向け等の付加価値の高い商品の売上高構成比率上昇等により、売上総利益は6,338百万円（前年同期比11.1%増）、売上総利益率は34.2%（同2.2ポイント上昇）となりました。販売費及び一般管理費は、賃上げの実施や営業活動の正常化とともに広告宣伝費等が増加したことにより5,279百万円（同9.3%増）となりました。その結果、営業利益は1,058百万円（同20.6%増）、経常利益は円安ユーロ高が進んだことによる為替差益882百万円の影響もあり2,518百万円（同100.2%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,723百万円（同24.6%増）となりました。

市場別の売上は次のとおりです。

[B&P (Business & Plus)]

売上高は、3,067百万円（前年同期比29.9%減）となりました。例年下期に需要が偏るなか、国内外ともに、IT投資の先送りやPC販売の減少の影響、市場における在庫調整等により前年同期を下回りました。

[ヘルスケア]

売上高は、8,239百万円（前年同期比8.8%増）となりました。診断用途向けでは、海外において北米等での販売が堅調に推移しましたが、国内において案件の後ろ倒しなどが見られました。内視鏡用途向けでは、欧米や中国、日本での販売が好調に推移しました。また、手術室向けの販売が国内で伸張しました。この結果前年同期を上回りました。

[クリエイティブワーク]

売上高は、1,416百万円（前年同期比16.2%増）となりました。前第1四半期は新製品の供給が十分にできませんでしたが、供給面での制約は解消しており欧州で堅調な販売であったことから前年同期を上回りました。

[V&S (Vertical & Specific)]

売上高は、1,988百万円（前年同期比12.0%減）となりました。EVSは、前期の米国に続いて、国内の監視向けソリューションを納入する等売上高を増加させました。航空管制向けは案件の端境期により、売上高は減少しました。この結果前年同期を下回りました。

[アミューズメント]

売上高は、2,663百万円（前年同期比129.6%増）となりました。主力機種の新機種の販売が増加したことから、前年同期を上回る売上高となりました。当業界を取り巻く市場環境は、遊技人口の減少と店舗数の減少等により業界全体の規模縮小が進んでおり、厳しい状況が継続しております。

[その他]

売上高は、1,174百万円（前年同期比6.8%減）となりました。アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が減少したことによるものです。

(単位：百万円)

市場	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
B&P (Business & Plus)	4,377	24.5	3,067	16.5	△1,309	△29.9
ヘルスケア	7,573	42.4	8,239	44.4	665	8.8
クリエイティブワーク	1,218	6.8	1,416	7.6	197	16.2
V&S (Vertical & Specific)	2,258	12.7	1,988	10.7	△270	△12.0
アミューズメント	1,159	6.5	2,663	14.4	1,503	129.6
その他	1,260	7.1	1,174	6.4	△85	△6.8
合計	17,847	100.0	18,548	100.0	700	3.9

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況は、前連結会計年度末と比較し、資産の部は現金及び預金、棚卸資産が増加したことにより8,765百万円増加し164,701百万円、負債の部は短期借入金が増加したことにより4,543百万円増加し39,898百万円、純資産の部はその他有価証券評価差額金の増加により4,222百万円増加し124,802百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,557	12,949
受取手形、売掛金及び契約資産	18,980	16,943
電子記録債権	1,680	1,438
商品及び製品	17,538	21,064
仕掛品	2,191	2,159
原材料及び貯蔵品	28,289	29,201
その他	1,765	1,623
貸倒引当金	△100	△101
流動資産合計	79,904	85,278
固定資産		
有形固定資産	21,988	22,493
無形固定資産	748	688
投資その他の資産		
投資有価証券	52,190	55,495
その他	1,104	744
投資その他の資産合計	53,294	56,239
固定資産合計	76,031	79,422
資産合計	155,935	164,701
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,897	5,427
短期借入金	1,575	8,075
未払法人税等	1,074	421
賞与引当金	1,686	802
製品保証引当金	2,031	2,071
その他	6,452	6,592
流動負債合計	19,717	23,391
固定負債		
長期借入金	947	985
役員退職慰労引当金	71	71
リサイクル費用引当金	580	564
退職給付に係る負債	2,598	2,607
その他	11,440	12,278
固定負債合計	15,638	16,507
負債合計	35,355	39,898

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,425	4,425
資本剰余金	4,313	4,313
利益剰余金	83,896	84,284
自己株式	△3,998	△3,998
株主資本合計	88,638	89,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,851	31,053
為替換算調整勘定	2,599	4,276
退職給付に係る調整累計額	491	446
その他の包括利益累計額合計	31,942	35,776
純資産合計	120,580	124,802
負債純資産合計	155,935	164,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)
売上高	17,847	18,548
売上原価	12,141	12,210
売上総利益	5,706	6,338
販売費及び一般管理費	4,828	5,279
営業利益	877	1,058
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	522	553
為替差益	—	882
その他	26	50
営業外収益合計	552	1,490
営業外費用		
支払利息	6	18
為替差損	164	—
不動産賃貸費用	—	10
その他	0	0
営業外費用合計	171	29
経常利益	1,258	2,518
特別利益		
投資有価証券売却益	835	—
特別利益合計	835	—
特別損失		
投資有価証券売却損	5	—
特別損失合計	5	—
税金等調整前四半期純利益	2,088	2,518
法人税、住民税及び事業税	299	599
法人税等調整額	405	195
法人税等合計	704	794
四半期純利益	1,383	1,723
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,383	1,723

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,383	1,723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,625	2,202
為替換算調整勘定	1,260	1,676
退職給付に係る調整額	△43	△44
その他の包括利益合計	△408	3,834
四半期包括利益	975	5,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	975	5,558
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の拡大に伴う会計上の見積りについて)

COVID-19に関連する当社グループの将来の業績に係る仮定につきましては、当第1四半期連結累計期間において重要な変更はありません。

なお、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りにつきましては、当第1四半期連結会計期間末時点で入手可能な情報に基づき実施しております。COVID-19の影響は軽微であると仮定して会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

3. 補足情報

(市場区分について)

区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、MIL規格対応、その他産業用途 (タッチモニター含む)
アミューズメント	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他	保守サービス及びソフトウェアの受託開発